

「平成29年度に実施した仕事」の振返りシート

記入日 平成 30 年 4 月 2 日

仕事の内容	在宅サービスセンター運営事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護保険	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 高齢者福祉の推進

(総合計画書 51 ページ)

予算名	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業 11 在宅サービスセンター運営事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 要支援1、要支援2、要介護1~5の方が利用する在宅サービスセンター。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) →施設
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 住み慣れた地域の中で高齢者がいきいきとした生活が送れるよう介護や機能訓練、健康管理、趣味、生きがい活動、送迎等を行う在宅サービスセンターの稼働率をあげて、施設の収入を増やしたい。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) →稼働率
	③ そのために何をしましたか。 年度協定書の作成や指定管理委託料、自動体外除細動器賃借料の支払事務を行った。また、毎月、提出される事業状況報告書等により施設の状況把握に努めた。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) →事業状況報告の確認は12回。

		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	施設	2	2	2	2
	成果指標	②の数値	%	81	82	82	85
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	回	12	12	12	12	

3 経費	事業費(実績)		円	29,844,120	29,178,840	29,178,840	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	29,844,120	29,178,840	29,178,840	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,646,600	1,653,400	1,650,600		
事業費+人件費		円	31,490,720	30,832,240	30,829,440		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成18年4月開始。 指定管理者による事業の実施と施設管理を目的とする。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 民間の事業所が増加している。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	高齢者の増加により、介護保険を利用する方が増え、通所介護事業所に対する期待が高まっている。

仕 事 の 内 容	在宅サービスセンター運営事業			
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護保険	係 課長名 伊野宮 崇

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。			
稼働率の向上。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	指定管理者と密な情報交換を行い、課題の把握、解決策を検討する。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
定期的な情報交換の機会の設定。				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費は維持する。